

水稻晩生新品種の候補を決定しました。

1 開発の経過

開発期間は平成 20～27 年度の 8 年間。

世代促進を図るために沖縄県石垣島でも栽培しながら、約 20 万株の個体から、食味値が高く、高温でも食味・品質が優れた個体の選抜と育成を繰り返しました。

平成 24 年度からは、県内 14 か所で有望個体の地域適応性評価を実施するとともに、米穀店や料理人などの専門家にも食味評価をいただき、それらの結果等をもとに、最終的な絞り込みを行いました。

2 品種の特長

大粒で、食味については甘さと粘りに特長があり、全体のバランスが優れるコシヒカリとは異なるおいしさを持っています。

また、平成 22 年の記録的な猛暑の中でも安定した食味・品質を確保し、高温登熟性にも優れており、成熟期はコシヒカリより 1 週間程度遅くなっています。

3 今後の予定

平成 27 年度中に品種登録出願を行うとともに、平成 29 年度の一般販売に向けて、生産・販売体制の構築やブランド確立に取り組みます。

【お問い合わせ先】

農林水産部農業総務課 政策室長 牛腸
(直通) 025-280-5802 (内線) 2895